

2014年初めての日本出張

日本の大学への訪問のため、2014年ミナ日本語センターの創業者として Thaoさんは日本に出張しました。初めての海外で忘れられないエピソードがありました。

日本に住んでいる友人に空港に迎えに来てもらうようお願いしましたが、会うことができず、連絡もできませんでした。ベトナムのように、日本のタクシーもあまり高くないだろうと思い、友人を探すのを諦めて、成田空港から友人の家に行くタクシーを呼びました。日本のタクシーは自動ドアで、運転もとてもスムーズでした。でもタクシー代が約2万円もして驚いてしまいました。そんなにかかるとは思いませんでした。

初めての海外なので、事前に調べていましたが、そのような事態は予想もつきませんでした。後に友人は空港で私の名前のアナウンスを頼んでいたことが分かりました。

その出張で、日本人の知り合いと東京駅で待ち合わせしました。ちょうどラッシュアワーと重なって、思った以上に混んでいました。じっとしていても人の流れに押されてしまうような気がしました。エスカレーターに乗って、右側に立ったら、（知り合いに）東京では左に立つように言われました。

一番恥ずかしい思い出は、ミナ日本語センターでインターンシップで働いた日本人の大学生に喫茶店で会った時です。お手洗いで、「流す」のボタンを押したつもりで呼び出しのボタンを間違えて押してしまいました。日本のトイレは、水の流し方がいくつかあって、自動で流れるものもあります。店員が「大丈夫ですか」と駆けよってきました。

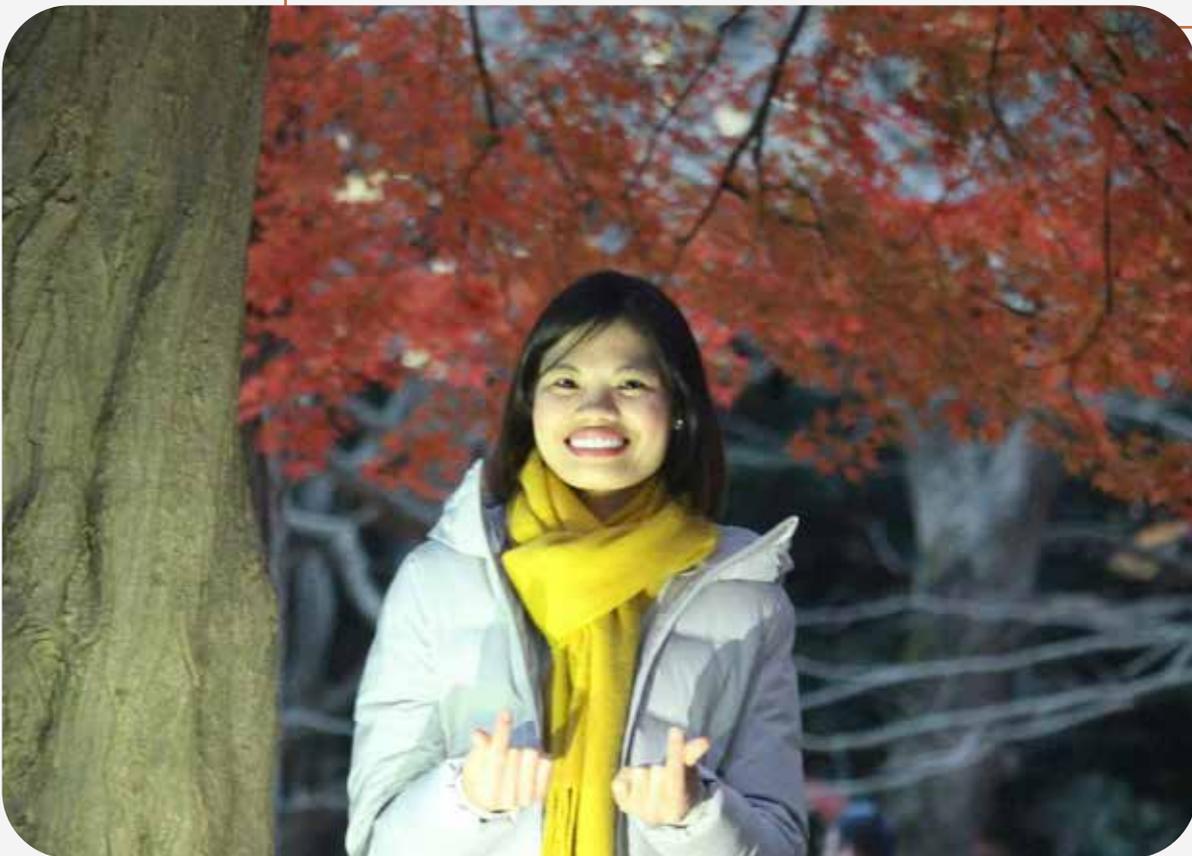
注：2013年、Thaoさんたちはミナ日本語センターを設立しました。センターでは、Softbrige株式会社の協力を得て、日本の大学生を受け入れています。彼らは、ミナ日本語センターをはじめ、ハノイのベトナム人学習者の日本語学習の手伝いや交流・遠足などのイベントを実施しています。

「できることを増やして、日本語でもっとたくさん話したい」

Thaoさんは直接授業はしませんが、経営者として日本語の上達を目指し、2017年から2年間日本に留学しました。

クラスメートより日本語が話せるので、よく代わりに電話をかけたり、病院への同行をするように頼まれたりしていました。そんな時、自分の日本語能力はまだ足りないと感じました。

買い物、交通など基本の日常生活なら特に不自由はありません。ただ、できることを増やして、日本語でもっとたくさん話したいと思っているのに、日本語の能力がまだ足りないと感じていました。それで、話す機会を作るために地域のボランティア活動に参加することにしました。





「日本で教育への熱意を感じる事ができました。」

小さな息子のためにThaoさんは家族と去年の10月から日本で暮らし始めました。Thaoさんはベトナムにあるミナ日本語センターを遠隔で運営しています。大学生の時に設立したセンターです。会社の経営にあたっては、問題がいろいろ起きて、続けられなくなりそうだと思う時もあります。ただThaoさんは、若い頃から精一杯成長させてきたこのセンターを大事にしていきたいと言っています。

私の息子は父親が日本人で、特殊な環境にあります。ベトナムにいた時は日本語もベトナム語もできませんでした。日本に連れて行って、祖父母にしばらく過ごしたら、日本語が少しできるようになりました。それで、家族みんな日本で引っ越すことにしました。息子と日本で暮らし始めた当時、支援センターに行っているいろいろお世話になりました。元教師のボランティアの方に、息子の会話の上達法や子育てのコツなどを教えてもらいました。

日本に来たばかりのころ、息子は慣れるまで、週に三日だけ幼稚園に通っていました。幼稚園の先生はみんな熱心で、なかなか泣きやまない子に根気よく話しかけて落ち着かせようとした場面も見ました。息子は幼稚園が大好きで、朝学校のバスが来たら嬉しそうにバスに乗り、私が迎えに行っても、すぐに降りたがらず遊んでいます。

ベトナムの日本語センターの管理にはいろいろな問題があります。会社の家賃の負担でストレスがたまって、諦めようとした時もありました。ただ、日本で、同じ教育関係の仕事をしている方々と出会って、教育への熱意を感じる事ができました。

この間、日本人の大学生に、私のセンターでボランティアをやりたいという連絡をもらい、嬉しかったです。かれらは、ミナ日本語センターで、自分が捜しているものが見つかるのではないのでしょうか。このセンターはやはり私の希望を叶えるところだと改めて信じています。

あなたへのヒント

Thaoさんはトイレで呼び出しボタンを間違えて押し
てしまい、恥ずかしい思いをしたと話しました。実は同
じ間違いをする人がとても多いそうです。間違わない
ように日本のトイレを知っていたらいかがでしょうか。
『いろどり』初級1第13課の生活Tipsに日本のトイレの
説明がイラスト付きで記載されていますので、ぜひご
覧ください。

<https://hn.jpf.go.jp/irodori/so-cap-1>



Thaoさんは留学のとき、日本人ともっと交流できるように
地域のボランティア活動に参加したと語ってくれました。

国際交流基金が作成した日本語学習のためのドラマ「ス
アン日本へ行く」第19話～第22話で、主人公のスアンが地
域の祭りの企画委員会に参加する場面があります。祭りの
運営で他のメンバーと交流する中、日本語で困ったことが
あっても、スアンは会話のストラテジーを使い乗り越えま
した。「スアン日本へ行く」では実際の会話に使えるヒント
が紹介されていますので、もっと日本語で話せることを増
やしたい方は是非ご参考にしてください。

<https://www.hikidasu.jpf.go.jp/>